

## 第62回関東東山病害虫研究会 研究発表会プログラム

日時：2015年3月19日 10:00～16:36  
場所：茨城県水戸市宮町1-6-159 ホテルレイクビュー水戸

病害分科会 (飛天) 一般講演12分 1 鈴：8分、2 鈴：10分、3 鈴：12分

時間	番号	講演題名	座長	
10:00	病1	<b>觀賞用サクラ属植物のウメ輪紋ウイルス感受性</b> ○松原聖斗 <sup>1</sup> ・蝶名林春香 <sup>1</sup> ・田守 秋 <sup>1</sup> ・遠藤三千雄 <sup>1</sup> ・川合 昭 <sup>1</sup> ・勝木俊雄 <sup>2</sup> ・西尾 健 <sup>1</sup> (法政大学生命科学部・ <sup>2</sup> 森林総合研究所)	津田新哉 (中央農業総合研究センター)	
10:12	病2	<b>ウメ輪紋ウイルス発生地域における有翅アブラムシのウイルス保持検定</b> ○中津川典花 <sup>1</sup> ・高田勇一 <sup>1</sup> ・加藤綾奈 <sup>2</sup> ・小野 剛 <sup>2</sup> ・遠藤三千雄 <sup>1</sup> ・川合 昭 <sup>1</sup> ・西尾 健 <sup>1</sup> (法政大学生命科学部・ <sup>2</sup> 東京都農林総合研究センター)		
10:24	病3	<b>静岡県で発生したメロン退緑黄化病の発生状況と防除対策</b> ○影山智津子 <sup>1</sup> ・土井 誠 <sup>1</sup> ・石川隆輔 <sup>1</sup> ・芳賀 一 <sup>2</sup> ・杉山恵太郎 <sup>3</sup> (静岡県農林技術研究所・ <sup>2</sup> 静岡県病害虫防除所・ <sup>3</sup> 経済産業部みかん園芸課)		
10:36	病4	<b>作業用手袋の利用によるピーマンモザイク病の接触伝染の抑制効果</b> ○後藤万紀・小川孝之 (茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所)		
10:48	病5	<b>夏秋いちご「なつおとめ」の育苗管理によるイチゴ炭疽病(<i>Glomerella cingulata</i>)の防除</b> ○高野純一 (栃木県農業試験場)	折原紀子 (神奈川県農業技術センター)	
11:00	病6	<b>長野県における紫外線B波(UV-B)照射によるパセリーうどんこ病の発病抑制効果の検討</b> ○山岸菜穂 <sup>1</sup> ・中村憲太郎 <sup>1</sup> ・中塚雄介 <sup>1</sup> ・有井雅幸 <sup>2</sup> ・服部 玄 <sup>2</sup> ・上久保和芳 <sup>3</sup> ・小木曾秀紀 <sup>1</sup> ・石山佳幸 <sup>1</sup> (長野県野菜花き試験場・ <sup>2</sup> デザインナーフーズ株式会社・ <sup>3</sup> 長野県諏訪農業改良普及センター)		
11:12	病7	<b>太陽熱土壌消毒による<i>Haematonectria ipomoeae</i>の消毒効果とトマト立枯病の空気伝染の可能性</b> ○越智 直 <sup>1</sup> ・榎間義幸 <sup>2</sup> ・井原啓貴 <sup>1</sup> ・橋本知義 <sup>1</sup> (中央農業総合研究センター・ <sup>2</sup> 宮崎県総合農業試験場)		
11:24	病8	<b>長野県におけるハクサイ炭疽病の発生と防除</b> ○小木曾秀紀 <sup>1</sup> ・星野英正 <sup>2</sup> ・山岸菜穂 <sup>1</sup> ・石山佳幸 <sup>1</sup> (長野県野菜花き試験場・ <sup>2</sup> 長野県野菜花き試験場佐久支場)	舟久保太一 (山梨県総合農業技術センター)	
11:36	病9	<b>小笠原諸島で発生した<i>Globisporangium (Pythium) splendens</i>によるキュウリ立枯病(新称)</b> ○菅原優司 <sup>1</sup> ・柴田 葵 <sup>2</sup> ・森田琴子 <sup>2</sup> ・星 秀男 <sup>1</sup> ・鍵和田聡 <sup>2</sup> ・石川成寿 <sup>2</sup> ・堀江博道 <sup>2</sup> (東京都小笠原亜熱帯農業センター・ <sup>2</sup> 法政大学生命科学部)		
11:48	病10	<b>薬用植物の新病害；<i>Rhizoctonia solani</i>によるカイケイジオウ・ハマボウフウ・シャボンソウ立枯病 およびエダウチオオバコ・ウツボグサ類白絹病</b> ○森田琴子 <sup>1</sup> ・市之瀬玲美 <sup>1</sup> ・柴田 葵 <sup>1</sup> ・太田智子 <sup>1</sup> ・荒金眞佐子 <sup>2</sup> ・吉澤祐太郎 <sup>1</sup> ・矢羽田達朗 <sup>1</sup> ・鍵和田聡 <sup>1</sup> ・石川成寿 <sup>1</sup> ・堀江博道 <sup>1</sup> (法政大学生命科学部・ <sup>2</sup> 東京健康安全研究センター)		
12:00	昼 食・休 憩			
13:00	総 会 (病害・虫害会場)			
13:35	特別講演(病害・虫害会場) <b>ダイコンわか症の原因究明と発生生態の解明</b> 小林正伸 氏(神奈川県農業技術センター 病害虫防除部)		酒井 宏 (群馬県農業技術センター)	
14:25	休 憩			
14:36	病11	<b>アメダスデータを用いたナシ葉濡れ継続時間の推定</b> ○金子洋平・牛尾進吾 (千葉県農林総合研究センター)	小河原孝司 (茨城県農業総合センター)	
14:48	病12	<b>長野県においてカキ円星落葉病防除に用いる主な殺菌剤の効果特性</b> ○岩波靖彦 (長野県南信農業試験場)		
15:00	病13	<b>イネ稲こうじ病の薬剤散布適期判定システムの適合性の検討</b> ○戸澤武人 (中央農業総合研究センター)		
15:12	病14	<b>茨城県におけるイネ縞葉枯病の発生動向</b> ○田畑美奈子 <sup>1</sup> ・興津正一 <sup>1</sup> ・渡辺正幸 <sup>2</sup> ・杉山恵乃 <sup>3</sup> ・岡部 克 <sup>1</sup> (茨城県病害虫防除所・ <sup>2</sup> 茨城県北農林事務所・ <sup>3</sup> 茨城県農業総合センター農業研究所)	山下 亨 (長野県農業試験場)	
15:24	病15	<b>イネ縞葉枯病に対する数種箱施用薬剤の防除効果</b> ○酒井和彦 (埼玉県農林総合研究センター)		
15:36	病16	<b>ヒメトビウカ第二世代幼虫を対象とした本田散布によるイネ縞葉枯病の防除効果</b> ○杉山恵乃 <sup>1</sup> ・島田峻 <sup>2</sup> ・諏訪順子 <sup>1</sup> ・青木一美 <sup>1</sup> ・西宮智美 <sup>1</sup> (茨城県農業総合センター農業研究所・ <sup>2</sup> 茨城県西農林事務所 結城地域農業改良普及センター)		
15:48	病17	<b>オオムギ黒節病に対する雨よけ栽培による防除効果</b> ○青木一美・諏訪順子・杉山恵乃・西宮智美 (茨城県農業総合センター農業研究所)		
16:00	閉 会			

虫害分科会 (鳳凰) 一般講演 12分 1 鈴: 8分, 2 鈴: 10分, 3 鈴: 12分

時間	番号	講演題名	座長
10:00	虫 1	<b>茨城県におけるジアミド系剤に対するコナガの薬剤感受性</b> ○井上麻里子 <sup>1</sup> ・岡部 克 <sup>1</sup> ・小河原孝司 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 茨城県病害虫防除所・ <sup>2</sup> 茨城県農業総合センター)	後藤千枝 (中央農業総合研究センター)
10:12	虫 2	<b>明治大学黒川農場におけるネギアザミウマの殺虫剤感受性</b> 小川将司・○糸山 享 (明治大学大学院農学研究科)	
10:24	虫 3	<b>神奈川県におけるナミハダニの薬剤感受性</b> ○奥村 一 (神奈川県農業技術センター)	
10:36	虫 4	<b>千葉県におけるミナミアオカメムシの分布</b> ○清水 健・河名利幸 (千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所)	長坂幸吉 (中央農業総合研究センター)
10:48	虫 5	<b>水耕栽培による微小害虫の簡易飼育法</b> ○宇賀博之 (埼玉県農林総合研究センター)	
11:00	虫 6	<b>黄色粘着板によるヒメトビウカ成虫発生消長把握の試み</b> ○小山田浩一 (栃木県農業環境指導センター)	
11:12	虫 7	<b>頭幅測定によるヒメオオカメムシの齢期推定</b> ○中野亮平 <sup>1</sup> ・土井 誠 <sup>1</sup> ・石川隆輔 <sup>1</sup> ・土田祐大 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 静岡県農林技術研究所・ <sup>2</sup> 静岡県賀茂農林事務所)	
11:24	虫 8	<b>市販「赤色防虫ネット」は何故タバコナジラミに対して防除効果を発揮できないのか</b> ○大矢武志 <sup>1</sup> ・阿部弘文 <sup>2</sup> ・安達圭宏 <sup>3</sup> ・植草秀敏 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 神奈川県農業技術センター生産環境部・ <sup>2</sup> 日本ワイドクロス株式会社・ <sup>3</sup> 神奈川県立西部総合職業技術校)	豊嶋悟郎 (長野県農業技術課)
11:36	虫 9	<b>数種薬剤のタバコナジラミバイオタイプQに対する影響とトマト黄化葉巻病の抑制効果について</b> ○春山直人 <sup>1</sup> ・中澤佳子 <sup>1</sup> ・福田 充 <sup>1</sup> ・松本華苗 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 栃木県農業環境指導センター・ <sup>2</sup> 塩谷南那須農業振興事務所)	
11:48	虫 10	<b>イチゴ栽培におけるヒラズハナアザミウマに対する各種薬剤の防除効果と物理的防除資材を利用したハウス内侵入抑制効果</b> ○横山朋也・佐藤信輔・鹿島哲郎 (茨城県農業総合センター園芸研究所)	
12:00	昼食・休憩		
13:00	総会 (病害・虫害会場)		
13:35	特別講演 (病害・虫害会場) <b>ダイコンわか症の原因究明と発生生態の解明</b> 小林 正伸 氏 (神奈川県農業技術センター 病害虫防除部)		酒井 宏 (群馬県農業技術センター)
14:25	休憩		
14:36	虫 11	<b>秋季にスモモに飛来するアブラムシ類に対する8種薬剤の防除効果</b> ○加藤綾奈 <sup>1</sup> ・星 秀男 <sup>2</sup> ・山口修平 <sup>1</sup> ・小野 剛 <sup>1</sup> ・菅原優司 <sup>2</sup> ・竹内浩二 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東京都農林総合研究センター・ <sup>2</sup> 現小笠原亜熱帯農業センター・ <sup>3</sup> 現島しょセンター大島事業所)	村上芳照 (山梨県果樹試験場)
14:48	虫 12	<b>長野県のカキにおけるフジコナカイガラムシの発生消長と防除時期の検討</b> ○栗原 潤 (長野県南信農業試験場)	
15:00	虫 13	<b>クリシギゾウムシ成虫の摂食対象および摂食対象が成虫の生存期間に与える影響</b> ○佐藤信輔・横山朋也・鹿島哲郎 (茨城県農業総合センター園芸研究所)	
15:12	虫 14	<b>ウツギコモリゴモ放飼によるネギにおけるネギアザミウマ防除効果</b> ○土井 誠 <sup>1</sup> ・土田祐大 <sup>2</sup> ・中野亮平 <sup>1</sup> ・石川隆輔 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 静岡県農林技術研究所・ <sup>2</sup> 静岡県賀茂農林事務所)	大井田 寛 (千葉県立農業大学校)
15:24	虫 15	<b>タバコカスミカメによる施設キュウリのネギアザミウマ防除効果</b> ○日本典秀 <sup>1</sup> ・長坂幸吉 <sup>1</sup> ・後藤千枝 <sup>1</sup> ・小原慎司 <sup>2</sup> ・手塚俊行 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 農研機構中央農研・ <sup>2</sup> (株)アグリ総研)	
15:36	虫 16	<b>アカメガシワクダアザミウマを用いた促成イチゴ栽培におけるアザミウマ類の防除</b> ○吉澤仁志 <sup>1</sup> ・高橋まさみ <sup>1</sup> ・日戸正敏 <sup>1</sup> ・石井隆志 <sup>2</sup> ・漆原寿彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 群馬県農業技術センター・ <sup>2</sup> 群馬県庁農政部技術支援課)	
15:48	虫 17	<b>アブラムシ寄生蜂ナケルクロアブラバチ <i>Ephedrusnacheri</i> の雌成虫に対する薬剤の影響期間</b> ○小林 誠・西村浩志・伊村 務 (栃木県農業試験場)	
16:00	虫 18	<b>バンカー法を毎年実施した農場での二次寄生蜂の季節消長</b> ○長坂幸吉・日本典秀・奥 圭子・守屋成一・後藤千枝 (中央農業総合研究センター)	伊村 務 (栃木県農業試験場)
16:12	虫 19	<b>「多摩川梨」におけるカブリダニ類の発生推移</b> ○山崎大樹・糸山 享 (明治大学大学院農学研究科)	
16:24	虫 20	<b>明治大学生田キャンパスの果樹研究圃場におけるカブリダニ類の種構成と発生消長 (第2報)</b> ○神本昌美・糸山 享 (明治大学大学院農学研究科)	
16:36	閉会		